

ステレオヘッドセット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

- ⚠

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DR-260USB



* 3 2 4 9 6 7 8 0 5 * (1)

©2003 Sony Corporation Printed in China

⚠ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、故障したまま使用していないかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・おいがしたら、煙が出たら

➡

① パソコンの電源を切る
② 専用USB接続ケーブルをパソコンから抜く
③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



⚠

警告

⚠

火災

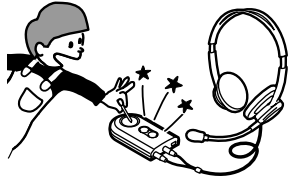
⚠

感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに専用USB接続ケーブルをパソコンと本機から抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



運転中は使用しない

自動車、オートバイ、自転車などの運転中は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。



分解しない

感電の原因となることがあります。内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



⚠

注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。



大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



かゆみなど違和感があったら使わない

使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して、医師またはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



- Microsoft および Windows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Pentiumは、Intel Corporation の登録商標または商標です。
- 本書ではMicrosoft® Windows® XP Home Edition および Microsoft® Windows® XP ProfessionalをWindows XPと記載しています。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書ではMicrosoft® Windows® Millennium EditionをWindows Meと記載しています。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 98 Second EditionをWindows 98SEと記載しています。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

主な特長

- PCノイズに影響が受けにくい、USBによるデジタル伝送
- ヘッドホン/マイク・レベル・ボリューム、マイクミュートを手元で操作できるUSBオーディオボックス
- フリースットメカニズムにより長時間の使用でも快適
- ノイズキャンセル機能搭載、フレキシブルブームマイク・ホン採用
 - 周囲の騒音を低減し、人の声を明瞭に録音できます。
 - 一口元に合わせてマイク位置を簡単に調節できます。
- PCの置き場所にとらわれないコード長 (専用USB接続ケーブル1.5m/ヘッドセットコード3m)

主な仕様

ヘッドセット DR-260DP	
コード	約 3 m
プラグ	金メッキステレオミニプラグ (ヘッドホン用) 金メッキミニプラグ (マイク用)
質量	約 90 g (コード含まず)
<レシーバー>	
形式	オープンエア ダイナミック型
ドライバー	30 mm (CCA採用) ドーム型
最大入力	1,000 mW (IEC*)1
インピーダンス	24 Ω (1 kHzにて)
音圧感度	100 dB/mW
再生周波数帯域	40 ～ 20,000 Hz
<マイク>	
方式	フレキシブルブームマイク・ホン
型式	エレクトレットコンデンサー型
開回路電圧レベル	-40dB (0 dB＝1 V/Pa)
有効周波数帯域	20 ～ 20,000 Hz

USBオーディオボックス UAB-260	
周波数特性	20 ～ 20,000 Hz (ヘッドホン出力) 100 ～ 10,000 Hz (マイク入力)
入・出力端子	ヘッドホン出力 (ミニジャック/ステレオ) 負荷インピーダンス 16 ～ 40 Ω マイク入力 (ミニジャック/モノラル) プラグインパワー対応 専用USB端子
電源	USB/スパワー対応 (5 V 100 mA)
最大外形寸法	約 53×20×92 mm (幅/高さ/奥行き) 最大突起部含まず
質量	約 40 g
動作環境	対応パソコン： IBM PC/AT互換機
対応OS：	Windows 98 Second Edition/Windows 2000 Professional/ Windows Millennium Edition/Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional標準インストール (日本語版のみ)
	CPU：Pentium II 266 MHz 以上
	USBポート装備*2
付属品	専用USB接続ケーブル (1) 取扱説明書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)

- 上記の動作環境において、すべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
- 自作PCおよびOSの個人でのアップグレード、マルチブート環境での動作保証はいたしません。
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ、ハイバーネーションなどの動作を保証するものではありません。

*1 IEC (国際電気標準会議) 規格による測定値です。

*2 本機は、USB (従来のUSB1.1) に対応しています。

ご注意

CEマークはおもにEEA (European Economic Area) 各国など、法律で定められている国においてのみ有効です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、ぶつかけたりなどの強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 専用USB接続ケーブルや、ヘッドセットのコードを強く引っ張らないでください。プラグを持って抜き差ししてください。
- 次のような場所は避けてください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
 - 窓を閉め切った自動車内 (特に夏季)。
 - 風呂場など、湿気の多い所。
 - ほこりの多い所、砂地の上。
 - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

本機について

- ヘッドセットを使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口にご相談してください。
- 大きな音量で聞かないようにご注意ください。ヘッドセットからの音をマイクが拾って、ピーという音が生じることがあります (ハウリング現象)。

イヤーパーッド、ウィンドスクリーンについて

イヤーパーッド、ウィンドスクリーンは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、破損したら交換してください。イヤーパーッド、ウィンドスクリーンを交換する場合は、ソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れについて

表面が汚れたときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

「故障かな？と思ったら」に記載されている症状以外の誤動作については、以下の手順を行うと正常に戻ることがあります。		
<ul style="list-style-type: none">専用USB接続ケーブルを抜き、再びパソコンと本機を専用USB接続ケーブルで接続する。 パソコンと本機をつないだ状態で、パソコンを再起動する。 専用USB接続ケーブルを抜き、パソコンを再起動する。再起動後、パソコンと本機を専用USB接続ケーブルで接続する。		

症状	原因	処置
ヘッドホンの音が小さい。	ヘッドホン端子にヘッドホンプラグがきちんと接続されていない。	ヘッドホンプラグをしっかりと接続する。
	パソコン側の「ボリュームコントロール」またはお使いのソフトウェアの音量が絞られている。	<ul style="list-style-type: none">「ボリュームコントロール」を調整する。 お使いのソフトウェアの音量を上げる。
ヘッドホンの音が出ない。	専用USB接続ケーブルにてパソコンに接続されていない。	専用USB接続ケーブルにてパソコンに接続する。
	ヘッドホン/端子にヘッドホンプラグが接続されていない。	ヘッドホンプラグをヘッドホン端子に接続する。
	音楽ソフトなどの再生中に本機を接続した。	音楽ソフトなどの再生を一度停止し、再び再生する。
	パソコンのオーディオ再生デバイスが正しく設定されていない。	<ul style="list-style-type: none">Windows 98SEの「マルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、「再生」の「優先するデバイス」を「USBオーディオデバイス」にする。 Windows Meの「サウンドとマルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、「再生」の「優先するデバイス」を「USBオーディオデバイス」にする。 Windows 2000の「サウンドとマルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、「音の再生」の「優先するデバイス」を「USBオーディオデバイス」にする。 Windows XPの「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、「音の再生」の「既定のデバイス」を「USB Audio CODEC」にする。
	パソコンの「ボリュームコントロール」または音楽再生ソフトウェアなどが「ミュート」にされている。	ミュートを解除する。

	USB機器としてパソコンに認識されて パソコンを再起動する。 いない。	
WDMによるデジタル再生機能に対応していないCD-ROMドライブを使用している。	WDMによるデジタル再生機能に対応したCD-ROMドライブをお使いください。	
ヘッドホンの音や録音された音声が続切れる。	パソコンのCPU負荷が大きい。	他のアプリケーションを終了する。
音声が録音(入力)できない。	同時に他のUSB機器を使用している。	他のUSB機器の使用を停止する。
	マイク端子にマイクプラグが接続されていない。	マイクプラグをマイク端子に接続する。
	MIC MUTINGボタンがMUTINGになっている。	MIC MUTINGボタンをTALKにする。

	パソコンのオーディオ録音デバイスが正しく設定されていない。	<ul style="list-style-type: none">Windows 98SEの「マルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、「録音」の「優先するデバイス」を「USBオーディオデバイス」にする。 Windows Meの「サウンドとマルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、「録音」の「優先するデバイス」を「USBオーディオデバイス」にする。 Windows 2000の「サウンドとマルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、「録音」の「優先するデバイス」を「USBオーディオデバイス」にする。 Windows XPの「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、「録音」の「既定のデバイス」を「USB Audio CODEC」にする。
録音された音声小さい。	マイク端子にマイクプラグがきちんと接続されていない。	マイクプラグをしっかりと接続する。
	マイク・ホンが口元から遠い。	マイク・ホンが口元にくるようにする。
	MIC LEVELが絞られている。	MIC LEVELを大きくする。
マイク音声に雑音が入る。	本機種 (特にマイク・ホン) の側に電灯線、蛍光灯、携帯電話などがある。	電灯線、蛍光灯、携帯電話などを本機種から遠ざける。
マイク音声が歪んでいる。	MIC LEVELが大きすぎる。	MIC LEVELを小さくする。

なお、パソコンの操作について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。以上の処置を行なっても改善されないときは故障と考えられます。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はステレオヘッドセットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには** ⇒ **コンピュータ関連アクセサリ カスタマーサポートへ**

http://www.sony.co.jp/support/pc-acc/

ヘッドセットに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合せとその回答をご案内しています。

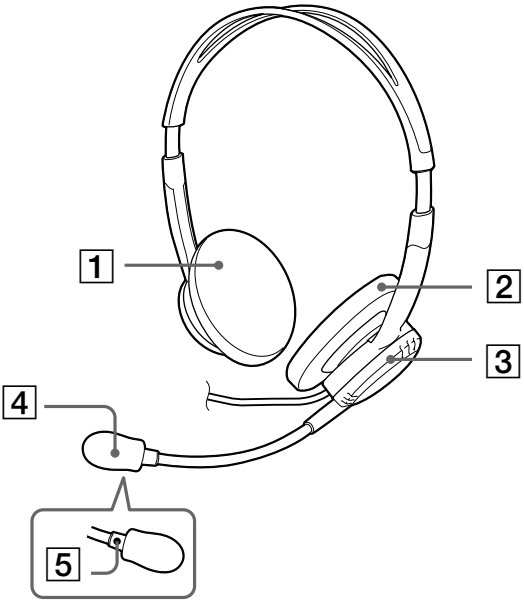
- 電話・FAXでのお問い合わせは** ⇒ **ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)**

- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
 - 型名：DR-260USB
 - ご相談内容：できるだけ詳しく
 - お買い上げ年月日
- ご使用のパソコン環境：
 主な仕様の動作環境を事前にわかる範囲で、ご確認いただき、お知らせください。

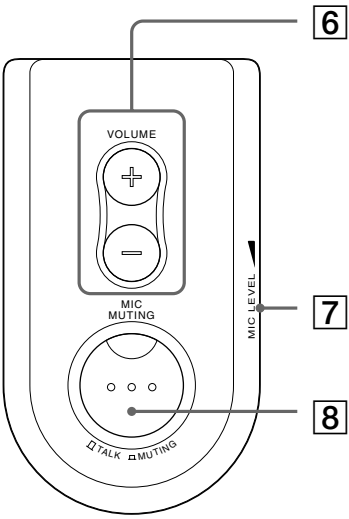
よくあるお問い合わせ、解決方法などは ホームページをご活用ください。		http://www.sony.co.jp/support	
使い方相談窓口		➡	左記番号へ接続後、 最初のガイダンスが 流れている間に 「309」 + 「#」 を押してください。 直接、担当窓口へ おつなぎします。
フリーダイヤル・・・・・・・・・・ 0120-333-020 携帯電話・PHS 一部のIP電話・・・ 0466-31-2511			
修理相談窓口		➡	
フリーダイヤル・・・・・・・・・・ 0120-222-330 携帯電話・PHS 一部のIP電話・・・ 0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。			
FAX(共通) 0120-333-389 受付時間 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00			
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1			

各部のなまえ

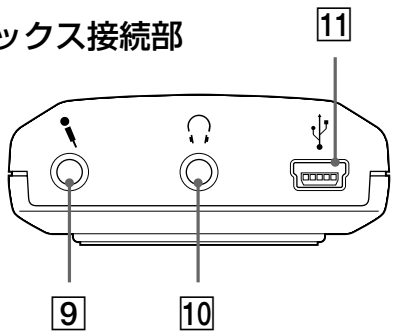
ヘッドセット DR-260DP



USBオーディオボックス UAB-260



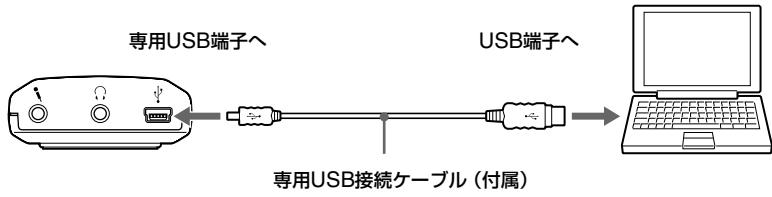
USBオーディオボックス接続部



- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ① イヤーパッド(Right/右) | ⑦ MIC LEVEL つまみ |
| ② イヤーパッド(Left/左) | マイク入力レベルを調節します。 |
| ③ マイク位置調節ダイヤル | ⑧ MIC MUTING ボタン |
| ダイヤルを回転させながら、マイク位置を調節します。 | □ TALK : マイク入力はミュートされません。 |
| ④ ウィンドスクリーン付マイクロホン | ⌵ MUTING : マイク入力はミュートされます。 |
| ⑤ ○マーク | ⑨ 〳 マイク端子 (プラグインパワー対応) |
| ⑥ VOLUME +/－ボタン(ヘッドホン用) | ⑩ 〰 ヘッドホン端子 |
| ヘッドホンの音量を調節します。 | ⑪ 〴 専用USB端子 |

準備 1：接続する

パソコンと本機のUSBオーディオボックスを付属の専用USB接続ケーブルで接続します。



ご注意

- 本機はUSB(従来のUSB1.1)をサポートしています。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合の動作保証はいたしかねます。必ず付属の専用USB接続ケーブルを使って接続してください。

準備 2：USBドライバをインストールする

お使いのパソコンのOSが、Windows 98SE、ME、2000、XPの場合、USBドライバはOSに含まれており、本機を初めてUSB端子に接続したときに、USBドライバがインストールされます。パソコンの画面にしたがってインストールしてください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

異なるUSBポートに本機を初めて接続した場合は、USBドライバのインストールが必要な場合があります。

Windows 98SEの場合

本機をパソコンに接続すると、新しいハードウェアの追加ウィザードが表示され、インストールが自動的に開始されます。USB互換デバイス、USBヒューマンインターフェイスデバイス、USBオーディオデバイスがインストールされます。パソコンの画面の指示にしたがって、各USBドライバをインストールしてください。なお、インストールの際、Windows 98SE CD-ROMが必要になる場合があります。

例として、USB互換デバイスのインストール手順を説明します。USBヒューマンインターフェイスデバイス、USBオーディオデバイスのインストールも下記の手順で行ってください。

- 「次の新しいドライバを検索しています」と書かれたウィンドウに「USB互換デバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
- 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」がチェックされていることを確認し、「次へ」をクリックする。
- 「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示され、「次へ」をクリックする。

なお、Windows 98SE CD-ROMが必要な場合は、CD-ROMを挿入し、「CD-ROMドライブ」もチェックしてください。

- 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と書かれたウィンドウに「USB互換デバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。
- 「USB互換デバイス 新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。

Windows Meの場合

本機をパソコンに接続すると、新しいハードウェアの追加ウィザードが表示され、インストールが自動的に始まります。USB互換デバイス、USBヒューマンインターフェイスデバイス、USBオーディオデバイスがインストールされます。パソコンの画面の指示にしたがって、各USBドライバをインストールしてください。

USB互換デバイス、USBヒューマンインターフェイスデバイスは自動的にインストールされます。USBオーディオデバイスのみ、下記の手順でインストールしてください。

- 「次の新しいハードウェアが見つかりました。」と書かれたウィンドウに「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認し、さらに「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」がチェックされていることを確認し、「次へ」をクリックする。USBオーディオデバイスがインストールされます。
- 「USBオーディオデバイス 新しいハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。

Windows 2000/Windows XPの場合

本機をパソコンに接続すると、自動的にUSB複合デバイス、USBヒューマンインターフェイスデバイス、USBオーディオデバイスがインストールされます。

準備 3：音楽CD再生の設定をする

本機にて音楽CDを聴くためには、お手持ちのパソコンのCD-ROMドライブで、デジタル音楽CDを使用可能にする設定が必要です。

お使いのパソコンのOSを確認して、下記の手順にしたがって「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックしてください。

Windows 98SE

スタートメニュー→設定→コントロールパネル→マルチメディア→音楽CD

Windows Me

スタートメニュー→設定→コントロールパネル→システム→デバイスマネージャ→CD-ROMをダブルクリックして、音楽再生用のCD-ROMドライブを選択しプロパティをクリック→プロパティ

Windows 2000

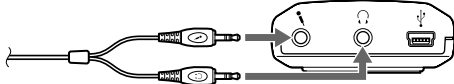
スタートメニュー→設定→コントロールパネル→サウンドとマルチメディア→ハードウェア→音楽再生用のCD-ROMドライブを選択しプロパティをクリック→プロパティ

Windows XP

スタートメニュー→コントロールパネル→サウンド、音声、およびオーディオデバイス→サウンドとオーディオデバイス→ハードウェア→音楽再生用のCD-ROMドライブを選択しプロパティをクリック→プロパティ

使いかた

- ヘッドホン端子にヘッドホンプラグ(黒)を接続し、マイク端子にマイクプラグ(ピンク)を接続する。



- ⑥印を右耳に、①印を左耳にして、ヘッドホンを装着する。



- マイクロホンの○マーク側が口元にくるように、マイク位置調節ダイヤルを回して、位置を調節する。



マイク入力レベルの確認

OSに付属しているソフトウェア「サウンドレコーダー」を使って録音を行い、マイク入力レベルの確認をしてください。マイク入力レベルが大き過ぎる場合や、小さ過ぎる場合は、USBオーディオボックスのMIC LEVELつまみで調節してください。

Windows 98SE/Me/2000

スタートメニュー→プログラム→アクセサリ→エンターテイメント→サウンドレコーダー

Windows XP

スタートメニュー→すべてのプログラム→アクセサリ→エンターテイメント→サウンドレコーダー

ご注意

- 本機のマイク入力は、オーディオ再生デバイスに対応していません(サイドトーン未対応)。
- 本機のマイク入力は、オーディオ録音デバイスの音量調節、ミュートに対応していません。USBオーディオボックスのMIC LEVELつまみ、MIC MUTINGボタンをご使用ください。
- お使いのソフトウェアによっては、設定が必要な場合があります。お使いのソフトウェアの取扱説明書などをご確認ください。